

第1号議案

2022(令和4)年度 特定非営利活動法人 札幌市里親会事業報告

1 総務活動

- (1) 会議の開催 (総会 5月、理事会 月1回、事務局会議 月1回)
- (2) 関係機関・団体・企業等への賛助会員の募集及び寄付金、里親開拓の協力依頼を行なった
- (3) 札幌市児童相談所との連絡会議を開催した。1月
- (4) 北海道里親会連合会と北海道地区里親会連絡協議会を開催した。8月、1月

2 広報・啓発活動

・新規里親の開拓、里親制度の理解と協力を市民に求める啓発行動を行なった。

- (1) 機関紙「ぽぷら」の発行。年度内2回 4,300部×2回
- (2) 関係機関・団体からの会議等出席要請を受託した。

札幌市子ども子育て委員

社会福祉協議会評議員

民生委員選考委員

- (3) ホームページの運営・管理を行なった。
- (4) 「事務局便り」を発行した。(毎月)

3 研修交流活動

・里親制度や児童の健全育成に関する知識の習得や、児童福祉の現状についての見識を深め、今後の里親会の発展に寄与できるよう次の研修会を開催、又は受講した。

- (1) 新規登録里親に「里親会について」の説明を行なった。7月、10月、1月、2月
- (2) 里親研修を開催した 3月「里親家庭でできる性教育」
- (3) 里親支援機関の里親レベルアップ研修に参加・受講をした。

5月 コロナ禍での子育て

8月 事例検討

9月 機中八策

10月 社会的養護の現状

11月 子どもの未来をつなぐ里親養育

1月 自立

2月 ライフストーリーワーク

その他：CARE、フォスタリングチェンジプログラム

- (4) 北海道里親研修大会(9月旭川 zoom)並びに全国里親大会(10月山梨)に参加した

- (5) 宿泊交流会、日帰りレクを開催した

日帰りレク 7月 円山動物園にて実施 計113名

宿泊交流会 1月(1泊2日)ガトーキングダム 宿泊 154名、日帰り 40名

- (6) 北海道ファミリーホーム研究大会及びファミリーホーム全国研究大会へ参加。

7月(1泊2日) 十勝川温泉 7件のファミリーホームが参加

- (7) ばかりっこ会を開催した 7月、3月

4 事業活動

(1) 援護事業

- ・委託児童に対する経済的支援。

小学校・中学校・高校入学祝い金の贈呈 10,000円×36名

お年玉の贈呈 3,000円×210名

生活援助金の贈呈 100,000円×9名

その他必要な支援

- ・企業から提供される食品その他支援品の分配をした

(株) ドミノ・ピザジャパン 「無料ピザで地域支援」 12月

(株) セコマ 「クリスマスケーキプレゼント」 12月

札幌洋菓子協会 「焼き菓子プレゼント」 12月

(株) 王将フードサービス 「長期休み中の子ども達へ食支援」 1月、3月

(株) セイバン 「ランドセルプレゼント」 3月

(2) 札幌市からの受託事業

①里親制度普及啓発事業

1) 「里親フェスタ」開催協力。10月

※フォスタリング機関に協力し、当会は里子の作品の展示及びスタッフとして案内等を行なった。

2) 「札幌市里親促進フォーラム」の開催(10月) 91名参加 (zoom75名、会場での視聴16名)

3) マスメディアを通じて里親制度と里親の実情への理解を呼びかけた。

HBC ラジオ 「金子耕式のファミリートーク」内で養育体験の紹介をした。

②里親養育相互援助事業

・登録里親が積極的に各サロン活動へ参加できるように周知し、研修を取り入れた活動などによりサロン活動の活性化を目指した。月1回、または隔月1回のサロンの他に研修や曜日を変えて開催する等の工夫をした。

8月 すみれ会 真実告知の研修(札幌乳児院より講師)

10月 ぽぷら会 ネット犯罪防止研修(道警より講師)

おしゃべり会の土曜日開催 7月、2月

- ・地区懇談会を通して各地区の里親同士の交流をすすめた

12月 地区懇談会を開催 大人57名 子ども5名 参加

③委託家庭訪問事業

- ・メンター会議、メンター研修に参加し情報共有とスキルアップに努めた
- ・メンター訪問活動を通して里親を支えた。

(3) 協賛

札幌市共同募金会主催「赤い羽根街頭募金」活動に参加・協力をした。

10月 街頭募金に参加(3名)

飲料水とグッズ購入による募金協力をした

5 損害保険

里親が里親会の活動等に参加している時の怪我等に備え、保険に加入した。

Chubb 損害保険(株) 傷害保険及び賠償保険

6 顕彰

札幌市里親会理事長表彰、団体等表彰の上申を行なった

7 弔慰

無し

貸借対照表

特定非営利活動法人札幌市里親会
全事業所

[税込] (単位: 円)

2023年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金

38,284

普通預金

1,923,426

現金・預金計

1,961,710

(その他流動資産)

前払費用

101,600

未収収益

435,050

その他流動資産計

536,650

流動資産合計

2,498,360

【特定資産】

特別事業基金

6,384,516

北海道大会開催準備基金

300,000

組織充実基金

500,000

固定資産合計

7,184,516

資産合計

9,682,876

《負債の部》

【流動負債】

前受金

72,000

未払費用

396,988

預り金

2,120

流動負債合計

471,108

負債合計

471,108

《正味財産の部》

前期繰越正味財産

9,782,067

当期正味財産増減額

△ 570,299

正味財産合計

9,211,768

負債及び正味財産合計

9,682,876

正味財産増減額計算書(2022(令和4)年度)

特定非営利活動法人札幌市里親会		(2022年4月1日から2023年3月31日)(単位:円)		
科目	当年度(A)	前年度(B)	差異(A)-(B)	備考
経常増減の部				
1 経常収益				
(1) 受取会費	5,225,000	5,580,500	-355,500	
① 正会員受取会費	1,085,000	1,088,500	-3,500	
② 賛助会員受取会費	359,000	347,000	12,000	
③ 運営協力金	3,781,000	4,145,000	-364,000	
(2) 受取寄付金	440,000	173,000	267,000	
(3) 受取助成金等	998,000	1,027,000	-29,000	
① 札幌市共同募金会	280,000	250,000	30,000	里親新規開拓事業210,000 機関紙ぼぶら発行70,000
② 全国里親会	0	45,000	-45,000	
③ 北海道共同募金会	618,000	609,000	9,000	お年玉3,000*206名
④ その他	100,000	123,000	-23,000	道新福祉振興基金100,000
(4) 事業収益	956,295	1,001,010	-44,715	
① 里親制度普及啓発事業	297,000	407,000	-110,000	※札幌市受託事業
② 里親養育相互援助事業	407,000	407,000	0	※札幌市受託事業
③ 里親委託家庭訪問事業	252,295	187,010	65,285	※札幌市受託事業
(5) その他の収益	1,733,084	1,300,080	433,004	
① 受取利息	84	80	4	預金利息
② 雑収益	0	0	0	
③ 参加費収入	833,000	0	833,000	宿泊交流会参加費
④ 特定資産取崩	900,000	1,300,000	-400,000	特別事業基金(特定資産)から振替
経常収益合計	9,352,379	9,081,590	270,789	
2 経常費用				
(1) 事業費	7,422,777	5,931,889	1,490,888	
給料手当	676,690	602,142	74,548	事務局員給料(※管理費と折半)
法定福利費	0	0	0	
諸謝金	247,630	189,030	58,600	モニター謝礼@3,630*51件=185,130 里親フェスタ作品提供・ぼぶら寄稿・ラジオ収録謝礼@1,000*31名=31,000 赤い羽根街頭協力500*3名=1,500 事務局職務執行謝礼30,000
印刷製本費	387,860	375,650	12,210	機関紙ぼぶら印刷代4,300部*2回
会議費	16,000	0	16,000	全国里親大会参加費@4,000*4名
会合費	2,755,364	1,017,301	1,738,063	里親制度普及啓発事業(フォーラム、ラジオ放送など)301,397※1 里親新規開拓事業(フォーラム)213,451※2 里親養育相互援助事業(サロン、地区懇など)418,405※ 日帰りレク69,041 宿泊交流会1,753,070
旅費交通費	168,980	14,820	154,160	役員交通費(サロン活動等)
車両費	0	0	0	
通信運搬費	238,424	192,952	45,472	ゆうメール郵送料218,624 がくぶり利用料19,800
消耗品費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
保険料	106,420	106,420	0	モニター保険67,000 傷害保険39,420
諸会費	642,000	681,000	-39,000	全国里親会会費632,000 全国里親大会協力金10,000
租税公課	800	800	0	収入印紙
援護費	2,182,609	2,751,774	-569,165	お年玉(ギフト券)630,000 生活援助金900,000(9件) 入学祝金360,000(36件) 理事長表彰97,909 里子ウイッグ194,370 のし袋330
雑費	0	0	0	
(2) 管理費	1,599,901	1,452,449	147,452	
給料手当	676,690	602,143	74,547	事務局員給料(※事業費と折半)
法定福利費	14,421	9,780	4,641	労働保険料
通勤費	105,480	177,000	-71,520	事務局長通勤交通費
旅費交通費	127,880	55,000	72,880	役員交通費(理事会等)
通信運搬費	234,849	232,890	1,959	携帯電話料、IN利用料、ハガキ代、切手代
消耗品費	110,460	81,935	28,525	インク、コピー用紙、文具 ほか
水道光熱費	228,345	264,609	-36,264	行政財産使用許可に基づく加算料(光熱水費ほか)
新聞図書費	1,500	1,500	0	「あたらしいふれあい」購読料
諸会費	12,000	10,000	2,000	北海道NPOサポートセンター年会費 札幌市社会福祉協議会2,000
支払手数料	16,721	17,592	-871	振込手数料等
雑費	71,555	0	71,555	
経常経費合計	9,022,678	7,384,338	1,638,340	
正味財産増減の部				
当期正味財産増減額	329,701	1,697,252	-1,367,551	
前期繰越正味財産額	2,697,551	2,400,299	297,252	(※特定資産7,084,516)
特定資産への振替額	1,000,000	1,400,000	-400,000	特別事業基金900,000 大会準備金100,000
次期繰越正味財産額	2,027,252	2,697,551	-670,299	(※特定資産7,184,516)
※1 里親制度普及啓発事業 301,397	講師謝礼等53,000 会場借上13,600 チラシ等印刷62,700 ラジオ制作代55,000 ポスター-38,500 ビデオカメラ78,597			
※2 里親新規開拓事業 213,451	Zoom運営料101,970 インク23,611 チラシ印刷19,800 会場備品借上3,720 封筒作成64,350			
※3 里親養育相互援助事業 418,405	会場借上料106,040 講師謝礼(2名)89,096 ノートPC99,800 Zoom利用料39,710 保育業務料19,800 飲料1,280 携帯(電話相談)62,679			

第1号議案付則資料

特定資産の増減内訳(決算)

特定非営利活動法人札幌市里親会

(2022年4月1日から2023年3月31日)(単位:円)

科目	期首価額	増額	減額	期末価額	備考
特別事業基金 ※①	6,384,516	900,000	900,000	6,384,516	増額:一般会計より振替 減額:生活援助金 @100,000×9件
北海道大会開催準備金 ※ ②	200,000	100,000	0	300,000	
組織充実基金 ※③	500,000	0	0	500,000	
合計	7,084,516	1,000,000	900,000	7,184,516	

※①任意団体札幌市里親会の特別会計(特別事業基金)から引き継いだものです。支援の種別は生活援助金と奨励金です。(※運用規約参照) 2021年5月現在、NPO法人札幌市里親会としての「特別事業基金運用規約」は整備されておきませんので、運用については当面は任意団体札幌市里親会の運用規約に準じ事業を実施して参ります。

※②2020(令和2)年2月27日任意団体札幌市里親会臨時総会の第1号議案Ⅲ新規事業参画のための「積立金」の確保について①全道里親大会輪番制に参画の積立金確保(年:最低10万円)を行う件の可決承認により準備金の積立を開始しました。

※③2020(令和2)年12月14日に任意団体札幌市里親会が受領した寄付金です。寄付の経緯は以下のとおりです。カトリック教会では、「カリタス家庭相談センター」を、ここ15年ほど運営してきました。これは、家庭に生じる課題の相談を受け、これに取り組むものです。「児童家庭支援センター」のカトリック教会版と言えます。この取り組みは、スタッフの高齢化があり、2年ほど前から後任を求めておりましたが、遂に得られず、センター自体の2021年3月末日閉鎖が決まりました。こうした時期に、「子どものためになるなら」とある方から匿名の寄付が、「カリタス家庭相談センター」に寄せられました。しかし、閉鎖が目前だったため寄付者のお気持ちに沿った寄付先として、札幌市里親会が選ばれました。以上の経緯から検討した結果、これを里親会における里親家庭支援の取り組みに用いることが最善と判断し将来の支出に備え基金として取り扱うことを決定しました。